

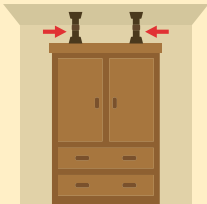
市の事業を活用しましょう

家具転倒防止 ID 0205634

無料で家具を4点まで器具で固定します。

対象 次に該当する人だけで構成される世帯

- ・満70歳以上
- ・身体障がい者手帳の交付を受けている
- ・要介護者または要支援者の認定を受けている



木造住宅耐震診断 ID 0100671

無料で耐震診断を行います。

対象 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅（空家を除く）

ブロック塀等撤去 ID 20210424

撤去費用を一部補助します。

対象 高さ60センチ以上で、道路や公共施設に面し、地震により倒壊する恐れがある塀

大地震発生！あなたはどう行動しますか？

「大地震が発生したら避難所へ行きますか？行きませんか？」この質問をするとき、多くの方が「避難所へ行く。」と答えます。では、避難所へ行く理由は何でしょうか。とりえず地震が来たから、家が壊れてしまったからなどさまざまな理由があると思います。もし家が大きな被害もなく、寝泊まりできる状態であったとして、それでも避難しますか。避難所へ避難できるのは、家が被災して生活できないからです。避難所へ行くだけが避難ではありません。大きな被害がなければ家にとどまることもできます。近くに親戚や知人の家など避難できる場所があれば、事前に相談しておくなど、日ごろから自助の意識を高めるとともに、近隣の方々と横のつながりを持って共助の意識を高め、いざというときのために助け合える環境を整えておくことが大切です。



緊急地震速報や津波に関する注意報・警報の発表、震度4以上の地震の観測がされた場合、「全国瞬時警報システム（Jアラート）」が防災行政無線から自動的に放送されるようになっていきます。普段聞き慣れない放送音が流れたときは、危険が迫っていることを示しています。そんな時にも慌てず、その瞬間に考えられる最善の行動を取れるよう、日常の生活の中でも、「今、大地震が発生したらどう行動するのか」を意識するとともに、防災について考え、事前に対策をすることで、防災力を身に付けましょう。

